2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	作業療法技術論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(1)　時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	後期　火3・4	教室名	5F機能訓練室、5Fレク室
担当教員	OT学科専任教員	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

2年次の最後から3年次にかけて行われる臨床実習では、それまでに学習した専門基礎科目・専門科目の内容を踏まえた知識・技術の統合が実践的な場で図られる。また、専門職業人の適性・態度と一社会人としての基礎力(リテラシーとコンピテンシー)が問われることとなる。本科目ではこれらの臨床能力を高めるため、形成評価としてOSCE(客観的臨床能力試験)を利用しつつ、知識・技術・態度の向上と統合の助けを行っていく。

《成績評価の方法と基準》

小テスト(実技)50%、期末試験(実技)50%
いずれも平常点(身なり、準備、主体性・積極性、出席状況等)を含む

《使用教材(教科書)及び参考図書》

■教科書: PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編 (金原出版)
■参考書: 作業療法評価学・作業療法評価学実習Ⅰ・Ⅱで利用した教科書や配布資料

《授業外における学習方法》

基本的に次の通り。
【事前学習】課題内容を確認し、医学的情報の確認、関連するOT評価方法に係る知識・技術の確認などを進める。
【事後学習】資料整理と復習。教員からのフィードバック内容や学生同士での協議内容を要点整理し、記録を行う。

《履修に当たっての留意点》

・授業時間は限られているため、事前に自分の力で主体的な学習と演習に努め、授業では練習として積極的な実習を行っていくこと。
・服装や身だしなみに関しては臨床実習に準ずるため、KC忘れの場合は、授業の聴講はできるが実技には参加できない。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	①OSCE課題「バイタルサインのチェック、療法士面接」について説明・実施できる。	PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編(金原出版)	【事前学習】シラバス内容を確認しておく。(20分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(40分)
		各コマにおける授業予定	**オリエンテーション、OSCE概要、バイタルサインのチェック、面接** 目的・方法や留意事項を再確認し、OSCE課題の到達度評価(採点基準)を確認する。		
第2回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	②OSCE課題「形態計測、関節可動域測定」について説明・実施できる。	PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編(金原出版)	【事前学習】課題内容の確認。(30分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(30分)
		各コマにおける授業予定	**形態計測、関節可動域測定** 目的・方法や留意事項を再確認し、OSCE課題の到達度評価(採点基準)を確認する。		
第3回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	③OSCE課題「筋の触診、反射検査」について説明・実施できる。	PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編(金原出版)	【事前学習】課題内容の確認。(30分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(30分)
		各コマにおける授業予定	**筋の触診、反射検査** 目的・方法や留意事項を再確認し、OSCE課題の到達度評価(採点基準)を確認する。		
第4回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	④OSCE課題「筋力検査、整形外科的検査」について説明・実施できる。	PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編(金原出版)	【事前学習】課題内容の確認。(30分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(30分)
		各コマにおける授業予定	**筋力検査、整形外科的検査** 目的・方法や留意事項を再確認し、OSCE課題の到達度評価(採点基準)を確認する。		
第5回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	⑤OSCE課題「感覚検査、脳神経検査」について説明・実施できる。	PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編(金原出版)	【事前学習】課題内容の確認。(30分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(30分)
		各コマにおける授業予定	**感覚検査、脳神経検査** 目的・方法や留意事項を再確認し、OSCE課題の到達度評価(採点基準)を確認する。		

授業の方法		内　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	⑥OSCE課題「CVA運動機能評価、協調性検査」について説明・実施できる。	PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編（金原出版）	【事前学習】課題内容の確認。(30分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(30分)
		各コマにおける授業予定	**CVA運動機能評価、協調性検査** 目的・方法や留意事項を再確認し、OSCE課題の到達度評価（採点基準）を確認する。		
第7回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	⑦OSCE課題「バランス評価、高次脳機能障害の推測」について説明・実施できる。	PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編（金原出版）	【事前学習】課題内容の確認。(30分) 【事後学習】資料整理と復習。要点整理。(30分)
		各コマにおける授業予定	**バランス評価、高次脳機能障害の推測** 目的・方法や留意事項を再確認し、OSCE課題の到達度評価（採点基準）を確認する。		
第8回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	⑧（知識・技術・態度の側面で）適切に①-⑦の評価を実施できる。	PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編（金原出版）	【事前学習】課題内容の確認。(10分) 【事後学習】スムーズスムーズな課題遂行のための練習を行う。(50分)
		各コマにおける授業予定	**演習・実習** 全OSCE課題の練習として、各グループで演習・実習を行う。必要に応じて、各グループや全体でフィードバック・指導を受け理解を深める。		
第9回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	⑧（知識・技術・態度の側面で）適切に①-⑦の評価を実施できる。	PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編（金原出版）	【事前学習】課題内容の確認。(10分) 【事後学習】スムーズスムーズな課題遂行のための練習を行う。(50分)
		各コマにおける授業予定	**演習・実習** 全OSCE課題の練習として、各グループで演習・実習を行う。必要に応じて、各グループや全体でフィードバック・指導を受け理解を深める。		
第10回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	⑧（知識・技術・態度の側面で）適切に①-⑦の評価を実施できる。	PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編（金原出版）	【事前学習】課題内容の確認。(10分) 【事後学習】スムーズスムーズな課題遂行のための練習を行う。(50分)
		各コマにおける授業予定	**演習・実習** 全OSCE課題の練習として、各グループで演習・実習を行う。必要に応じて、各グループや全体でフィードバック・指導を受け理解を深める。		
第11回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	⑧（知識・技術・態度の側面で）適切に①-⑦の評価を実施できる。	PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編（金原出版）	【事前学習】課題内容の確認。(10分) 【事後学習】スムーズスムーズな課題遂行のための練習を行う。(50分)
		各コマにおける授業予定	**演習・実習** 全OSCE課題の練習として、各グループで演習・実習を行う。必要に応じて、各グループや全体でフィードバック・指導を受け理解を深める。		
第12回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	⑧（知識・技術・態度の側面で）適切に①-⑦の評価を実施できる。	PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編（金原出版）	【事前学習】課題内容の確認。(10分) 【事後学習】スムーズスムーズな課題遂行のための練習を行う。(50分)
		各コマにおける授業予定	**演習・実習** 全OSCE課題の練習として、各グループで演習・実習を行う。必要に応じて、各グループや全体でフィードバック・指導を受け理解を深める。		
第13回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	⑧（知識・技術・態度の側面で）適切に①-⑦の評価を実施できる。	PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編（金原出版）	【事前学習】課題内容の確認。(10分) 【事後学習】スムーズスムーズな課題遂行のための練習を行う。(50分)
		各コマにおける授業予定	**演習・実習** 全OSCE課題の練習として、各グループで演習・実習を行う。必要に応じて、各グループや全体でフィードバック・指導を受け理解を深める。		
第14回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	⑧（知識・技術・態度の側面で）適切に①-⑦の評価を実施できる。	PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編（金原出版）	【事前学習】課題内容の確認。(10分) 【事後学習】スムーズスムーズな課題遂行のための練習を行う。(50分)
		各コマにおける授業予定	**演習・実習** 全OSCE課題の練習として、各グループで演習・実習を行う。必要に応じて、各グループや全体でフィードバック・指導を受け理解を深める。		
第15回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	⑧（知識・技術・態度の側面で）適切に①-⑦の評価を実施できる。	PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編（金原出版）	【事前学習】課題内容の確認。(10分) 【事後学習】スムーズスムーズな課題遂行のための練習を行う。(50分)
		各コマにおける授業予定	**演習・実習** 全OSCE課題の練習として、各グループで演習・実習を行う。必要に応じて、各グループや全体でフィードバック・指導を受け理解を深める。		